

# 世界チンパンジーの日 7月14日

当園では7月13日(土)11時より  チンパンジーのガイドを開催します。



チンパンジーってどんな動物？

チンパンジーの一生は50年くらいです。



チンパンジーの赤ちゃんは  
生まれてから5年間はお母さんに  
しっかり守られて育ちます。  
食べる時も寝るときも  
**いつも一緒**です。

お母さんには仲間がたくさんいます。  
こどもはお母さんが他のチンパンジーと過ごすようすを間近に見ながら  
生きていくために必要なことを学び成長していきます。

おっぱいを飲まなくなっても10才くらいまではお母さんの近くで過ごします。

おとなになるとメスは生まれた集団を出て  
新しい集団へうつっていきます。  
オスは生まれ育った仲間のもとで一生くらしします。



チンパンジーの感情表現はとっても豊かです。



遊んで大声で笑う けんかして泣かされる 仲直りして抱き合う。  
仲間がいるから できること。



# 野生チンパンジーがおかれている状況

チンパンジーは絶滅の危機に瀕しています。  
100年前までは推定で100~200万頭のチンパンジーが  
アフリカ大陸 25 カ国にまたがり生息していたと言われています。  
現在では生息数がアフリカ大陸全体で**35万頭**まで減っています。



森が切り開かれ、畑が広がる。奥はチンパンジーが生息する森。

## チンパンジーが絶滅の危機にさらされる主な要因

- ① **密猟** (ペットや肉として売買、小動物用のワナにかかる)
- ② **感染症** による死亡 (呼吸器疾患、エボラウイルス、人との共通感染症)
- ③ **生息環境の破壊** (農業、住宅、鉱業、採石業、林業、幹線道路・鉄道などのインフラ整備のための森林伐採)

チンパンジーを絶滅から守るため私たちにできること

- 携帯電話のリサイクル
- パーム油を使った製品の購入を控える
- 日々の暮らしの中でチンパンジーを守るちょっとした努力の輪を広げる

# 『世界チンパンジーの日』とは？

野生および飼育されているチンパンジーの暮らしを支え、彼らを守る人々を応援し、またより多くの人々を魅了することを目的に、7月14日は世界チンパンジーの日と制定されました。

1960年7月14日はジェーン・グドール博士が野生チンパンジーの研究のため、初めてゴンベ溪流国立公園へ足を踏み入れた日です。グドール博士はチンパンジーという類い稀な動物に人々の関心を集め、今日までの約60年間にわたり彼らの素晴らしさを広く伝えてきました。

世界チンパンジーの日は、ヒトに一番近い、進化の隣人ともいわれるチンパンジーを深く知り、彼らに敬意を表す日であり、また彼らの暮らしを守ることや保護、保全には世界規模での協力が必要であるということについて人々の意識を高める日でもあります。

世界チンパンジーの日の目標：

- 私たちヒトの進化の隣人であるチンパンジーを深く知る
- 野生のチンパンジーが直面している様々な危機、例えば生息地の消失、伝染病の蔓延、野生動物の違法取引などについて人々に知ってもらう
- 飼育下におけるチンパンジーの適切な生活（心身ともに健康な生活）を広める

2019年7月14日 世界チンパンジーの日  
詳しい情報は[WorldchimpanzeeDay.org](http://WorldchimpanzeeDay.org)

この日をソーシャルメディアで広めてください！  
#WorldChimpanzeeDay

関連するイベントを企画している動物園もあるので調べてみてください。